



ほっと

第 41 号



幌西地区連合町内会・幌西地区交通安全実践会



地域の見守りで「ほっと」するまちに

幌西まちづくりセンター
所長 脇山 秀
(令和6年4月着任)

「いってきまーす」、「いってらっしゃーい 車に気を付けていくんだよ！」

毎朝、我が家での子どもとの会話のやりとりです。この言葉には、“今日も1日車に気を付けて無事に帰ってくるんだよ”という思いが込められています。そして、仕事から帰宅し、元気な子どもの顔を見ると「ほっと」します。

みなさまは、「ひまわりの絆プロジェクト」をご存じでしょうか。

樹木が色づき始めた平成23年11月、京都府内に住んでいた当時4歳の男の子が、近所にいる「にいに(兄)のところへ行く」と言って家を出ました。前日足を骨折していた母親は、子どもについて行くことができなかつたため、「端っこを歩きなさいよ」と声掛けをしましたが、これが最後の言葉となりました。自宅から、わずか200mの所で、背後から来た車にひかれ、一つの命の灯火が消えました。お母さんはどれだけ自分を責めたでしょうか。変わり果てた我が子と対面した両親の気持ちを思うと胸が張り裂けそうです。

生前、男の子が幼稚園で育てて持ち帰っていたひまわりの種を、ご両親は男の子が生きていた証として大切に育てていました。この交通事故を担当していた警察官が、ある日男の子の自宅を訪問した時、ご両親から「私たちの子が生きていた証を残したい」「このひまわりがあらこちらで咲けば、この子も色んな所へ行けると思うから」と、そのひまわりの種を託されました。

こうしたご両親の思いと、交通事故根絶の願いが、ひまわりの種となって全国各地に引き継がれ、毎年夏に向けて、このひまわりを咲かせるための取り組みが行われています。

ここ幌西地区においては、毎日、町内会や交通安全実践会の役員など多くの地域の方々が通学路などで子ども達を見守る活動を行っています。保護者としては、自分達の目の行き届かないところで、地域の目で子ども達を見守ってくれることをとても心強く感じながら、安心して家族を送り出せているのではないのでしょうか。

これからも、地域の見守る力で、「ほっと」できる安全・安心なまちづくりを進めていけるよう私も地域の一員として、地域のみなさまの活動を支援してまいりたいと思います。

今後ともよろしくお願ひいたします。



交通安全運動の取り組み

4月8日(月) 幌西小学校入学式に校門前で啓発活動を行いました。

7月12日(金) ハイヤー会館前の菊水旭山公園通で啓発活動を行いました。

7月27日(土) 幌西小学校で自転車交通安全教室を開催しました。





交通安全で表彰

10月25日(金)、幌西地区交通安全母の会の本間麻里会長が、交通安全施策の推進と実践の功績を讃えられ札幌市交通安全功労者市長表彰を受賞されました。

また、交通安全功労者知事感謝状も受賞されました。



今から実践！冬道の歩き方

小さな歩幅で歩く

歩幅が大きいと転倒しやすくなります。

「ペンギン歩き」がおすすめ。



飛び出し注意

車や雪山でかげになることがあります。

車は急に止まれません。左右に注意してわたりましょう。



ながら歩きはダメ！

気を取られて、足元の注意が低下します。



NEW

「交通安全標語」つくってみませんか

「ほっと」ではこれまで川柳を募集しておりましたが、より自由な旋律・発想で交通安全を表現できるよう、今年は標語（スローガン）を募集いたします。

幌西地区に住んでいる、幌西地区で働いている、幌西地区に遊びにくるなど、だれでも応募できます。できあがった標語は、幌西まちづくりセンターにお持ちください。（応募期間：令和7年1月31日まで・FAX、Email可）次号「ほっと」紙上で掲載させていただく予定です。

優秀作品5作品には500円分QUOカード進呈！

過去に幌西小学校5年生が作成し、交通安全実践会長賞を受賞した標語です

- 「わたっちゃえ」 その一言を やめようよ
- 危険だよ スマホに夢中 赤信号
- 渡るとき 正面以外も 気を付けて

幌西地区交通安全標語応募用紙

幌西まちづくりセンター
TEL561-3256 FAX552-9265
Email : chuo.kosai@city.sapporo.jp

作品

ペンネーム

電話番号

お名前

ご住所